巻頭論文

自動車機器技術の動向と将来展望

西村幸信*

Engineering Trends and Prospective Stories in Automotive Equipment

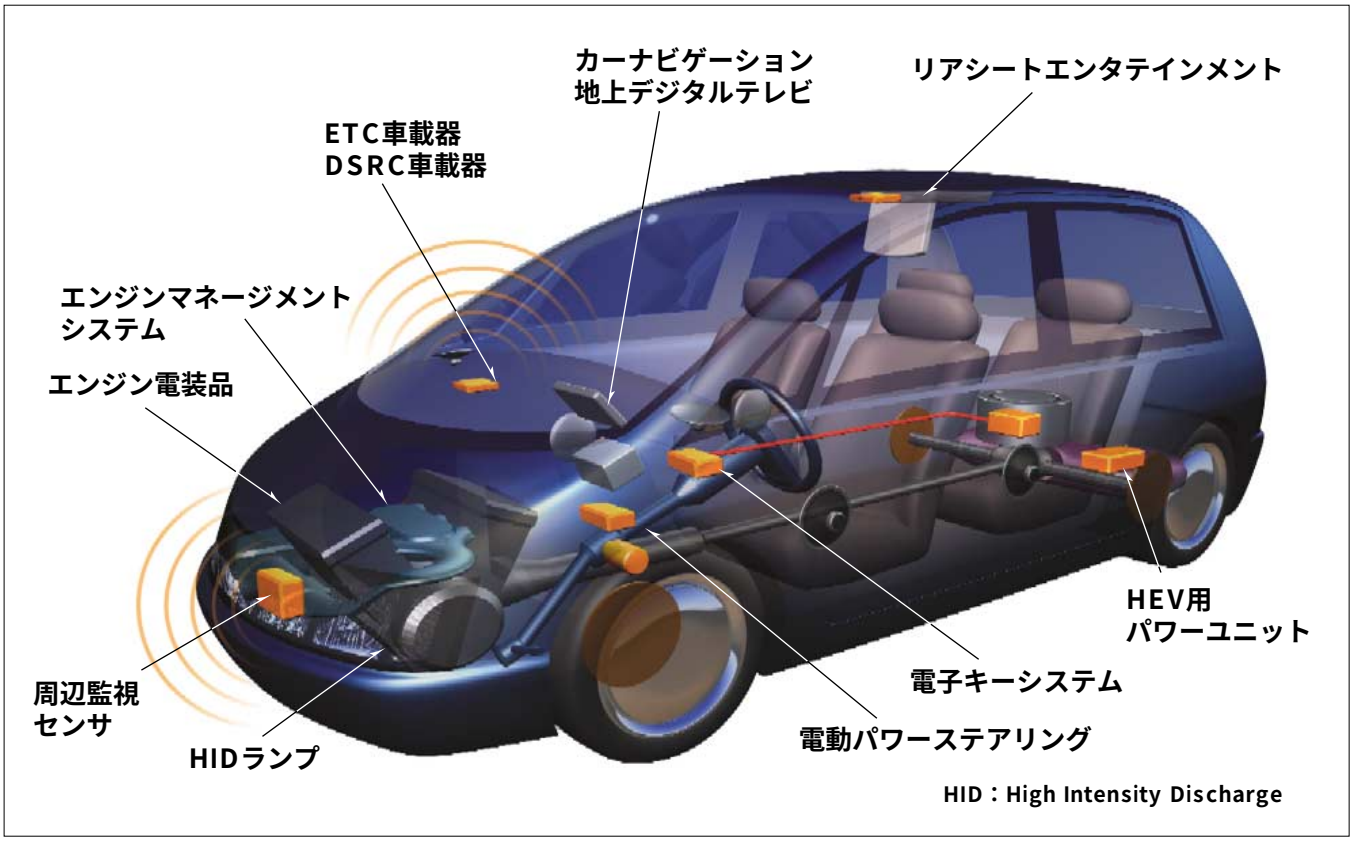
Yukinobu Nishimura

要　旨

自動車は人々の生活を豊かにする道具として現在の社会では不可欠な存在になってきている。豊かさの追求は留まることなく進んでいくが，一方で地球温暖化への対策や交通事故の大幅な削減といった，自動車の負の遺産に対する問題やエネルギー資源の問題などは明確な将来展望が描けているわけではない。

ケニアの副環境相であるワンガリ・マータイ氏が2005年に来日したとき，日本には「もったいない」という言葉があることに感銘したことはご存知の方も多いと思う。マータイ氏はこれを世界に広めるため「MOTTAINAI」と表し，その意味は“リデュース（消費削減）”“リユース（再利用）”“リサイクル（資源再利用）”の３つのＲを示していると説明している。これはまさに自動車の世界にも通じることといえよう。

前述の大きな問題はこのような草の根的な活動だけでは解決できない問題かもしれないが，幸い自動車産業にかかわる人々は製造業最大ともいわれており，これらの人々が自動車の持続可能な発展のために知恵と力を注げば，自動車による豊かな生活が世代を超えて継続していけるものと確信している。三菱電機はそのために先進技術を結集して革新的な製品作りに取り組んでいる。



新時代のカーライフを実現する先進技術

当社は，“環境”“安全”“情報・エンタテインメント”の各分野で先進技術を駆使して新時代のカーライフ実現を目指している。

*自動車機器開発センター長